

中学生の「税についての作文」で

『伊予市長賞』を受賞

租税教育の一環として中学生に募集していた「税についての作文」で、港南中学校3年の重友佑介さんが『伊予市長賞』を受賞しました。その作文をご紹介します。

「税金と生活」

重友 佑介さん(港南中3年)



税金という言葉を聞くと、正直なところ「中学生の自分にはあまり関係のないことだ。」と思っていました。実際、最近までは消費税のことくらいしか知らなかったのですが、税金について興味すらありませんでした。しかしある日、税金について興味を持ち始める出来事がありました。

その日、僕は腕に湿疹のようなものができてしまい、皮膚科の病院に行くことになりました。診察が終わりに、たいしたことはなかったのですが、「1週間分の飲み薬だけ出しておきます。」と言わ

れ、母が受付でお金を払うのをなんとなく見ていました。会計は千円と少し。医者は儲かる仕事だと思っていたし、薬だって無料で作れる訳でもないのに、診察代と薬代合わせて千円は安いと驚きました。帰りの車の中で母になぜあんなに安いのか聞いてみました。すると、医療費の7割は国が税金から支払っているということでした。そして僕は驚きとともに、税金について興味がわいてきました。

税金について調べてみると、いろいろなことが分かりました。まず、公共の施設、例えば公園、学校、警察署、消防署などの建築費や整備費はすべて税金から出されています。さらに、公共の施設で働いている人々、教師や警察官、消防士などの給料もすべて税金から出しています。

次に、私達は生活のさまざまな場面で税金を払っているということです。まず、一番身近な税金が物を買った時に5%払うことになっている消費税です。他にも酒やタバコを買った時に、酒税やタバコ税。車を買った時には自動車取得税、車検を受けた時には自

動車重量税がかかります。しかも、車関係の税金は、道路を作る時や道路の整備にも使われます。

このようにさまざまなところで徴収され、そして使われている税金、今ではなくてはならないものになっています。それでは、税金を払うのが嫌だからといって、みんなが税金を払うのをやめてしまったらどうなるのでしょうか。

学校はなくなり、犯罪が起こっても警察が来ることはなく、火事が起こっても消防車が来ることはありません。そして水道や電気さえも使えなくなり、まず、このように、税金とは生活になくしてはならないとても大切なものなのです。税金を納めることは日本国憲法の三大義務の一つである納税の義務です。だからだれでも必ず税金を納めなければならぬのです。たとえ少ない金額だったとしても、みんなが納めること

によって社会のための大きな役割を果たすことになるのです。これからも税金のおかげで生活が成り立っていることに感謝し、税金に対する理解を深め、納税の義務を果たしていきたいと思えます。

栄養関係功労者の

『厚生労働大臣賞』

を受賞

国では、栄養改善事業の普及向上、栄養士、管理栄養士制度の発展向上、栄養行政に対する協力等に特に顕著な功績がある方を表彰しています。

市内からは、高橋怡逗子さん(三島町)が食生活改善リーターとして35年間、食生活改善事業の発展向上に、尽力された功績が認められ、受賞にいたりしました。

高橋 怡逗子さん(三島町)



秋の叙勲

『瑞宝単光章』を受章

春と秋に発表される叙勲と褒章は、国が個人の功績を讃える制度で「栄典制度」と呼ばれています。叙勲は国など公に対する功労のあつた方が対象となっておりです。

このたび、2006年秋の叙勲受章者が発表され、市内からは、消防団活動で33年間もの長きにわたり、多大な功績を残された袋田芳光さん(双海町串)が受章されました。

ご功労・ご功績に対し、心から敬意を表し、晴れの受章をお喜びいたします。

消防功勞
袋田 芳光さん(双海町串)



高齢者叙勲

『旭日単光章』を受章

高齢者叙勲は、春秋叙勲により未だ勲章を授与されていない功労者のうち、88歳になられた方に授与されることとなっております。市内では、永見武男さん(湊町)が伊予市議会議員として長年にわたり、地方自治に多大な功績を残されたとして旭日単光章を受章されました。

ご功労・ご功績に対し、心から敬意を表し、晴れの受章をお喜びいたします。

地方自治功勞

永見 武男さん(湊町・88歳)
元伊予市議会議員

「統計の日」記念式典で永年協力者に

『農林水産大臣感謝状』を受賞

中国四国農政局では、農林水産業の基礎資料となる統計調査を行っていただきます。

10月18日の「統計の日」にあわせて記念式典が行われ、亀岡将志さん(双海町串)が漁業経営調査経営体で20年間、統計調査に協力し、農林水産統計の発展に貢献した永年協力者として受賞されました。

亀岡 将志さん(双海町串)



平成18年度農山漁村いきいきシニア活動表彰で

『奨励賞』を受賞

(社)農山漁村女性・生活活動支援協会では、各地域での高齢者対策の取り組みを助長するために、農山漁村地域のいきいきとしたシニア活動を展開している高齢者やそれを支援する団体を表彰しています。

愛媛県からは2人が受賞され、市内では宮崎セイ子さん(上吾川)が、女性農業委員・伊予市農山漁村男女共同参画社会づくり推進協議会会長など、農山漁村地域の男女共同参画の推進に寄与していることが認められ、受賞されました。

宮崎 セイ子さん(上吾川)

